平成 28 年度　ＦＤ活動報告

経済学研究科

１　ＦＤ活動の実施体制、取り組みの概要

研究科委員会における議論や、委員会のメーリングリストにおける情報提供を通じて、ピア授業参観の導入ならびに運営、カリキュラムの改善といった FD 活動を実施している。次ページ以降にその詳細を記した。

２　ピア授業参観実施状況

期間	公開授業数	参観者数	特記事項
前期	9	2	
後期	17	3	
年度合計	26	5	

３　ＦＤに関する講演会、セミナー、ワークショップの開催状況

開催日	内容（タイトル）	種別	参加者数

４　ＦＤに関する会議、委員会の開催状況

会議・委員会名	内容	回数	委員数
経済学研究科委員会	研究科全体の FD 活動を企画、実施	11	10

５　その他取り組みの具体的実施状況

サテライト教室で学ぶ社会人大学院生に対して、授業科目や研究環境等に関する Web アンケートを実施した。3 月末までに回収し、今後の授業改善を含む、サテライト教室の運営全般の方向性を考える資料とする。

受講者数・担当授業科目数は個々の授業科目における教育の質に影響すると考えられるため、博士前期課程の授業科目開講状況（受講者数、担当授業科目数）を確認した。

平成 28 年度ＦＤ活動実施報告　経済学研究科

１．大阪府立大学大学院ＦＤセミナーへの積極的参加

２．研究科内外のＦＤ事例の共有

- 経済学研究科　平成 28 年度博士前期課程の授業科目開講状況（別紙参照）
- 玉川大学出版部　高等教育シリーズ、シリーズ大学の教授法
  http://www.tamagawa-up.jp/search/s1706.html
  http://www.tamagawa-up.jp/search/s7312.html
- 日本オープンコースウェア・コンソーシアム（公開されたシラバスの検索が可能）
  http://www.jocw.jp/index_j.htm

３．ピア授業参観の積極推進

- 前期　9 の授業が公開され、参加者 2 名であった。
- 後期　17 の授業が公開され、参加者 3 名であった。

４．授業評価アンケートへの積極的参加の学生に対する呼びかけ、並びに各教員によるアンケートの分析とコメント

- 教員コメントやふり返りの記入をメールを通じて呼びかけた。

５．分野別の履修マップに基づく学修状況の確認、履修マップ更新の必要性の検討

- 現時点では、更新の必要なしと判断した。平成 30 年度より、博士前期課程において、観光・地域創造専攻が経営学専攻の一分野となるため、平成 30 年度開始までに経営学専攻の履修マップを更新する必要がある。

６．シラバスに記載した授業目標の達成度に基づく成績評価の結果確認と授業目標更新の必要性の検討

- 現時点では、更新の必要なしと判断した。

平成 28 年度博士前期課程の授業科目開講状況

博士前期課程　演習I、演習II、論文演習、基礎講義を除く科目別受講者数の分布

	受講者数																
キャンパス	0	1	2	3	4	5	6	7	8	10	11	12	13	14	16	18	総計
なんばサテライトキャンパス	1	2	14	5	2	9	2	4	1	1	3	1		2	2	1	50
中百舌鳥キャンパス	37	10	2		2	3		2		2		4	2				64
総計	38	12	16	5	4	12	2	6	1	3	3	5	2	2	2	1	114

博士前期課程　演習I、演習II、論文演習、基礎講義を除く開講された担当授業科目数の分布

	担当授業科目数					
	1	2	3	4	5	総計
教員人数（非常勤を含む）	23	16	4	1	1	45

現状では、サテライト教室の授業科目は負担コマ数にカウントされているが、中百舌鳥キャンパスの授業科目は負担コマ数にカウントされていない。常勤教員は時間割上では中百舌鳥キャンパスでの大学院の授業科目を担当していること、その授業科目に受講者数がいるかは新学期に入らないと分からないことがその理由と考えられる。

中百舌鳥キャンパスでの開講された大学院の授業科目については、次年度の負担コマ数を決める際に考慮することを検討しても良いかもしれない。

参考

授業および及び研究指導の負担調整ルール（平成 27 年度から適用）

1. 新 M2，新 D2，新 D3 の指導学生 1 人につき 0.5 コマの負担とカウントする．
2. サテライト講義に対する追加軽減は廃止．
3. 授業および研究指導の負担コマ数を教授 4 コマ，准教授 3 コマとする．ただし初年次ゼミ・基礎ゼミ・外書ゼミが 0 コマでも基準の負担を超える場合，追加的な調整はしない（できない）．

平成 29 年度ＦＤ活動実施計画　経済学研究科

１．大阪府立大学大学院ＦＤセミナーへの積極的参加
２．研究科内外のＦＤ事例の共有
３．ピア授業参観の積極的推進
４．授業評価アンケートへの積極的参加の学生に対する呼びかけ、並びに各教員によるアンケートの分析とコメント
５．分野別の履修マップに基づく学修状況の確認、履修マップ更新の必要性の検討
６．シラバスに記載した授業目標の達成度に基づく成績評価の結果確認と授業目標更新の必要性の検討